

第2章

近づくとき刻をお知らせ! IoTロボットの口を作る

PICスパコン PiCCASOで作るおしゃべりヘルパ「スケジュール郎」

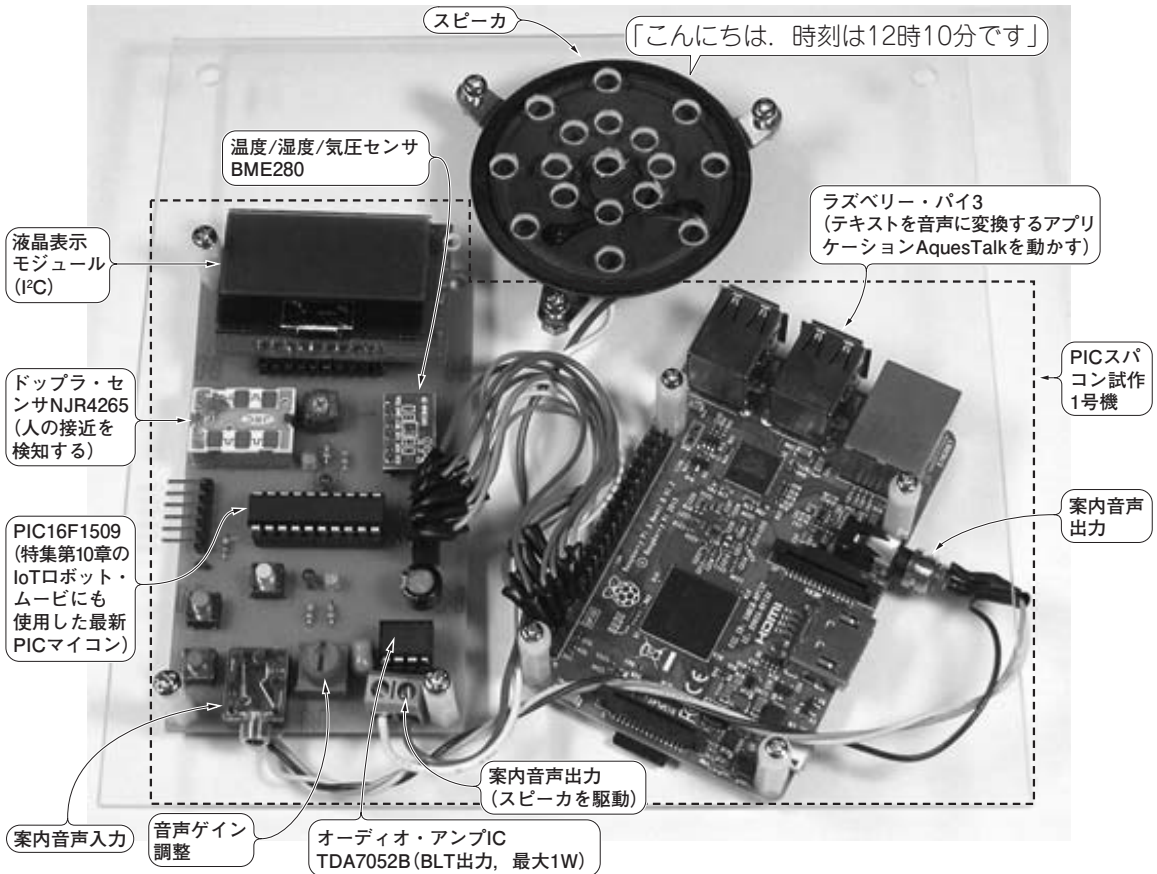


写真1 I/O強化ボード試作1号機とラズベリー・パイ3をつないだPICスパコンにスピーカをつないでおしゃべりヘルパ「スケジュール郎」を製作

本章では、第1章で製作したPICスパコン試作1号機を使った無人IoTの応用製作例を紹介します。

製作したのは、近づくとき用意したテキストを読み上げるおしゃべりヘルパ「スケジュール郎」です。しゃべる内容は、テキスト・ファイルで自在に変えられるので、スケジュール管理や音声掲示板として利用できそうです。ハードウェア構成は第1章の前半部を参照してください。

PICスパコンは、ドップラ・センサに手を近づけると人がいると判断して、スピーカから時刻や温度の異常を音声で案内します。ラズベリー・パイ3がWi-FiでWebに接続していれば、時刻は自動的に校正されいつも正確です。

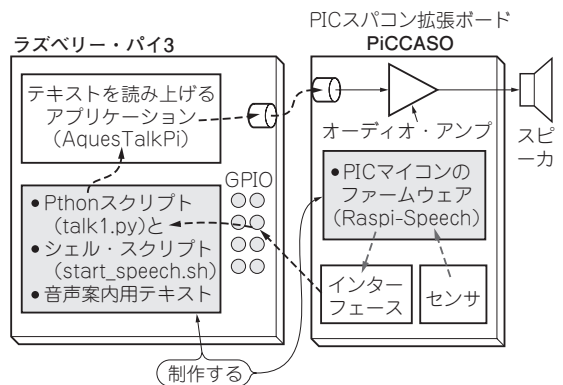


図1 おしゃべりヘルパ「スケジュール郎」のプログラムの構成